

衆議院環境委員会ニュース

平成 27.9.11 第 189 回国会第 12 号

9 月 11 日（金）、第 12 回の委員会が開かれました。

1 瀬戸内海環境保全特別措置法の一部を改正する法律案（参議院提出、参法第 22 号）

- ・ 発議者参議院議員石井正弘君（自民）から提案理由の説明を聴取しました。
- ・ 発議者参議院議員石井正弘君（自民）、水岡俊一君（民主）及び清水貴之君（維新）並びに望月環境大臣、高橋環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・ 採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成一自民、民主、維新、公明、共産、生活）
- ・ 牧原秀樹君外 5 名（自民、民主、維新、公明、共産、生活）から提出された附帯決議案について、浮島智子君（公明）から趣旨説明を聴取しました。
- ・ 採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。
（賛成一自民、民主、維新、公明、共産、生活）

（質疑者及び主な質疑内容）

島 津 幸 広君（共産）

- ・ 瀬戸内海は、様々な要因が絡み合って悪化していったものと考えているが、発議者の見解を伺いたい。
- ・ 沿岸域の良好な環境を創出するために、環境省として埋立地における遊休地の活用を検討するつもりはないのか、望月環境大臣の見解を伺いたい。
- ・ 採石などによって山が削られることにより、景観が損なわれるだけでなく、山の栄養分がなくなり、豊かな海に影響が出ていることについて、望月環境大臣の見解を伺いたい。

玉 城 デニー君（生活）

- ・ 本改正案で新設された瀬戸内海は環境の保全に関する基本理念を具体化するには、水質等に関する調査を踏まえた上で具体的な施策を進めるべきと考えるが、環境省の見解を伺いたい。
- ・ 瀬戸内海において良好な環境を回復させる観点から、藻場・干潟を今後どのように再生・回復させていくつもりなのか、環境省の方針を伺いたい。
- ・ 国による地方公共団体に対する援助については、必要性のない無駄な公共事業を増やすことがないように、有効性や効率性を精査した上で援助を行うことが重要である。財政措置を伴う援助の在り方について、発議者の見解を伺いたい。